

評価確定日	平成15年 月 日
所管部課名	建設交通部 道路建設課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																								
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み] ○用地買収は、ほぼ完了しており、事業進捗に対する支障は無い。 ○残工事区間には橋梁3箇所、トンネル1箇所が存在するが、これら構造物の早期完成が今後の事業完成を左右する。現在、これらの構造物を先行実施しており、順調に進捗している。																								
<p>[路線名] 国道398号</p> <p>[箇所名] 大湯道路</p> <p>[所在地] 雄勝郡皆瀬村畑等</p>	<p>[事業の目的] 国道398号は、起点を宮城県石巻市、終点が秋田県本荘市まで、延長が290kmの路線で、途中に築館町・湯沢市を經由する広域観光・物流ネットワーク上重要な路線である。しかしながら、当事業区間を含め秋田・宮城県境部は線形や縦断が極端に悪く、冬期通行止区間であることから、地域経済の発展を大きく阻害している。特に、当該付近は栗駒国定公園内にあり、周辺には小安温泉や泥湯温泉、鳴子温泉、秋ノ宮温泉などがあり、観光シーズンには大型バスによる観光客が多数来県するにも関わらず、すれ違いが困難で渋滞が発生している状況である。本事業は、その中でも特に隘路部になっている箇所の改良工事である。</p> <p>[総合計画上の位置付け] ・あきた21総合計画 ・広域共同プロジェクト(MA I 栗駒ほっとプラン) ・地域防災計画 ・緊急輸送道路</p> <p>[事業の内容] ○道路改築事業 ○延長 6.6 km ○幅員 6.0 (8.5) m ○事業費 139億円 うち用地費 1.2億円 ○事業期間 H1~H19年</p>	<p>[事業の経緯] H 1 事業採択 H 2 用地着手 H 3 工事着手 H 4 一部供用 360m H 7 " 2,420m H12 " 840m</p> <p>[進捗状況] ○H15年度まで投資済事業費 107.28億円(77.2%) 内用地費 1.15億円(98.3%) ○一部供用延長 3,620m(54.8%)</p> <p>[長期継続の理由] 部分供用を図りながら事業を進めているが、山と川に挟まれた急峻な地形に山岳トンネルや橋梁を設置するなど事業規模が大きいことや、冬期間の積雪により工事期間が制約されるため、期間を要している。また、急峻な地形のため現場搬入路が制限され、橋やトンネルの同時施工が不可能であることから、単年度の予算執行額も制限される。</p>	<p>[社会経済情勢の変化] ○国道108号鬼首道路の開通(H9.8) ○栗駒山荘改装オープン ○交通センサデータ(台/日) (観測地点:皆瀬村 小安)</p> <table border="1"> <tr> <td>H6</td> <td>H9</td> <td>H11</td> </tr> <tr> <td>1,634</td> <td>1,880</td> <td>1,491</td> </tr> </table> <p>○小安・須川地区観光客数(千人)</p> <table border="1"> <tr> <td>H9</td> <td>H10</td> <td>H11</td> <td>H12</td> <td>H13</td> </tr> <tr> <td>199</td> <td>199</td> <td>275</td> <td>228</td> <td>247</td> </tr> </table> <p>国道108号鬼首道路の開通により、当地区のH11年交通量が若干落ちている。しかし、逆に当地区の観光客数は順調に伸びており、以前にもまして道路整備の必要性は高まっている。</p> <p>[地元の意向] ○これまで、何度も地元関係団体、町村から早期完成の陳情を受けている。 ○用地買収は、ほぼ完了しており、工事の進捗を望む声大きい。</p> <p>[環境対策] ○公園計画に組み込まれた道路であり、建設省の要綱に定められている対象事業に該当しないため、環境影響評価は実施していない。 ○栗駒国定公園内であるが、特別地域・特別保護地区ではない。また、県自然保護課と協議し許可を得ている。 ○計画の見直しにより、縦断勾配を上げることで、発生土量を大幅に減らし、その残土も他工区へ流用することで環境に配慮している。 ○山岳道路であるにも関わらず、大土工事を極力避けて、トンネル1箇所、橋梁12橋で最小限の掘削工事としている。 ○切土・盛土法面は緑化する。</p>	H6	H9	H11	1,634	1,880	1,491	H9	H10	H11	H12	H13	199	199	275	228	247	<p>[整備効果] ○一部区間(3,620m)が供用されたことにより、小安温泉と須川温泉の大型バスによる観光周遊が民間交通会社により定期化された。 ○当地域の観光は「周遊観光」であり、半数以上は県外客であると考えられ、国道398号が整備されることで、周遊コースの選択肢が増え、潜在的観光需要を掘り起こせる。 ○国道342号県境部冬期閉鎖解除を平成13年度からゴールデンウィーク前としたことで、地域経済に多大な効果を発揮した事例がある。当地域も同等の効果が期待できる。</p> <p>[費用の変化] ○H10再評価時全体事業費 163億円 ○コスト削減への取り組み ・最急縦断勾配を2.5%から4.5%に変更 ・県道仁郷大湯線との交差を立体から平面 ・事業効果を早める為、当面はスノーシートは施工しない。 (見直し後全体事業費:139億円)</p> <p>[効果の変化] ○縦断勾配は急となるが、冬期安全走行が確保出来る勾配である。 ○スノーシートを施工しないことにより、通年通行は不可能となるが、冬期閉鎖期間を短くすることが可能であり、相当の効果が期待できる。 ○その他の効果に変更は無い。</p> <p>[費用対効果]</p> <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>算出無</td> </tr> <tr> <td>再評価時(H10)</td> <td>1.03</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.59</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.50</td> </tr> </table>	計画時	算出無	再評価時(H10)	1.03	今回	1.59	採択基準	1.50	<p>3 コスト削減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>[コスト削減の可能性] ○これまでも、可能な限りコスト削減に努めている。今後は、再生材料の使用等により、さらにコスト削減に努力する。</p> <p>[代替案立案の可能性] 代替案立案の必要性は生じていない。</p>
H6	H9	H11																											
1,634	1,880	1,491																											
H9	H10	H11	H12	H13																									
199	199	275	228	247																									
計画時	算出無																												
再評価時(H10)	1.03																												
今回	1.59																												
採択基準	1.50																												
再評価の結果	再評価の結果	対応方針(案)及びその理由	公共事業評価専門委員会の意見																										
<p>○ 継続 ・ 中止</p>	<p>[対応方針(案)] 計画通り、平成19年度に完成供用を図る。</p> <p>[理由] 全体延長6,600mのうち、3,620mを供用している。未供用区間の主要構造物は橋梁1橋が完成し、3橋梁についても工事着手中である。事業を推進する上での支障がなく、残りのトンネル1箇所、橋梁1橋及び舗装等についても継続施工し、平成19年度の全線供用を図る。</p>																												